

WE HAVE A DREAM



地域から考えるグローバルエイジング

～さんむまちづくり出前講座受講～

右の写真は、GAI I の生徒が参加した山武ミライ塾の際のもの

平成 29 年 6 月 22 日、1 年生全員が『さんむまちづくり出前講座』を受講しました。これは、1 年生の地域フィールドワークと地域への提言のきっかけとして、山武市の問題点や現状について、山武市や山武市社会福祉協議会から専門家を招いて講義をしていただくものです。

実施講座は、次の 6 講座です。「みんなで進めるまちづくりの話」「障がい者の支援制度について」「山武市の生涯学習について」「あなたの心は元気ですか?」「認知症サポーター養成講座」「地域の底力!!」

それぞれの講座では、『支援制度に関して、資料も踏まえた説明がいただけて大変貴重な講



山武市との連携

話でした。』『認知症は、人ごとでは無く誰でも起こり得るというのを認識できた。「私たちでも出来る事をする」という事を理解出来た』などの感想や意見がありました。

この講座を踏まえ、1 年生は夏期休業中に地域フィールドワークを行い、文化祭でのポスター発表、山武市への提言、GAI 選択、タイ海外フィールドワークと、本校 SGH 事業の研究開発構想である『地域から考えるグローバルエイジング』の研究を深めていきます。

アーリーサマーセミナー 城西国際大学の留学生との交流会



平成 29 年 6 月 21 日、城西国際大学にて本校の GAI II の選択者 41 名と、城西国際大学の留学生との交流会が行われました。

2 部構成で行ったプログラムは、前半を外国語コミュニケーションと位置づけ、本校生徒 3 名と留学生 1 名のチームを作り、自己紹介を始めとした外国語による交流を深めました。後半は、本校の SGH 研究の一つである『「やさしい日本語」を活用した、国内におけるグローバル化』の研究実践として、本校生徒が昨年実施した、タイ・スウェーデンの研究視察の報告を留学生に行い、留学生からの質疑応答を行いました。

留学生にどのように分かりやすく日本語を用いて説明するかは、これから国内がグローバル化していく中で必ず抱える問題としての「やさしい日本語におけるコミュニケーション能力」に一石を投じるものでした。本年度は、オータムセミナーも計画しており、さらなる生徒のコミュニケーション能力向上に努めていきます。

『Super Girl HANAちゃん』は、先生方の体験談をもとに異文化理解について考えるマンガです。実体験を題材にしていますが、創作が含まれることをご了承ください。

Super Girl HANAちゃん
↑マツブさん(三つ子)

←ハナちゃん

第3回「わたしは誰でしょう」の巻

学生時代
わたしは
ストレートの
セミロング……

主人公なのに
出番これだけ

「わー、
おいしい
コレ何ですか？」と
思わず店員さんに
聞いたところ

卒業旅行に
オーストラリアに
行きました。
教師になる前の
思い出作りです。

教師は
なぜか
オーストラリア
好き

それは
H a
H a
だよ。

ワニって
結構
怖いよ

ある日
海辺で
すてきなレストランを
見つけ、
速攻で
お客になりました。

真実を
知った瞬間

私の髪の毛は
こんなに
なっていました

見ちゃダメ
見ちゃダメ

その時
出された
ステーキが
それはそれはおいしくて……
鶏肉より風味が強く
牛肉よりさっぱりしてて
とにかく
私好みでした。

それ以来
髪が
戻らないまま
高校で
教師をしています

教訓：
カルチャーショックって
ほんっとに
ショックよ！

今回は???先生の体験でした。
先生の一言「これを実話と信じた生徒は卒業できません」